

第1項 地域・家庭と連携した教育

1. 現況と課題

国際化・情報化などの進展により、これからの社会は変化が激しくなるといわれています。

園児・児童・生徒は、そのような社会に主体的に対応できる「生きる力」を身につけることが重要であり、自らが課題を持ち、自ら学び、考え、判断し、問題を解決する資質や能力を育むことが求められています。

地方分権の進展にともない、教育の場においても、規制緩和・教育の自由化が進んでいるなか、それぞれの地域の素材や幼稚園・学校の特色を生かした学習の一層の充実が求められています。

各幼稚園・学校の特色ある教育の充実が求められるなか、各分野において専門的な知識・技能を持つ方に、*ゲストティーチャー（GT）として学習に協力していただいています。今後も地域の人材活用を積極的に推進し、学習の場を地域に求めていくとともに、地域住民の意向を学校教育に反映していくことが重要であり、そのためには、地域・家庭との連携を一層密にしていく必要があります。

また、園児・児童・生徒が犯罪に巻き込まれる事例も見られることから、幼稚園・学校内外における安全確保が必要です。

*ゲストティーチャー

児童・生徒の学びの広がりに対応するため、学習の場に招いて授業を行う専門的な知識・技能を持った人。

2. 施策の基本的な方向性

（1）地域の素材や学校の特色を生かした学習の推進

社会の一員としてよりよく生きるために、基礎・基本の定着を図るとともに、自ら課題を見つけ、自ら解決する学習能力を育成し、児童・生徒の生きる力、豊かな人間性を育みます。

地域の素材や学校の特色を生かした学習の充実に努め、特色ある幼稚園・学校づくりの推進に努めます。

*学校評議員制度

校長がリーダーシップを発揮し、地域の多様な意見を把握・反映しながら、学校運営を行うために導入された制度。学校評議員は学校運営に関して意見を述べることができます。

（2）地域の人材の活用

地域の人材を活用することで、地域を教材とした特色ある学習を推進し、各家庭、地域社会と連携した教育に努めます。

体験を生かした学習を推進し、心身ともに健全な園児・児童・生徒の育成を図るとともに、地域住民の信頼に応えるため、*学校評議員制度や*学校自己評価システムの充実を図り、開かれた幼稚園・学校の推進に努めます。

また、PTAや地域組織などとの連携により、園児・児童・生徒の安全確保を図ります。

*学校自己評価システム

児童・生徒に対応したよりよい教育活動を実践するため、教育目標や教育計画などの立案、学校運営についての自己評価とあわせ、家庭や社会など外部からの評価結果を学校運営などに反映させるシステム。

3. 施策の体系と主要施策

1 地域の素材や学校の特色を生かした学習の推進

- ・ 特色ある学習内容の充実
- ・ 地域の素材の教材化

2 地域の人材の活用

- ・ ゲストティーチャーの活用
 - ・ 体験を生かした学習の推進
 - ・ 開かれた学校づくりの推進
 - ・ 児童・生徒の安全確保の推進
-



第2項 幼児教育の充実

1. 現況と課題

幼児期には、自発的な活動としての遊びを通して生きる力の基礎を培うことが求められていますが、今、少子化、核家族化、都市化の波を受け、幼児を取り巻く環境は著しく変化しています。幼児期にふさわしい環境や生活を保障し、幼児の心の安定や人と関わる力を育てていくとともに、市立幼稚園における3歳児保育の充実や預かり保育の検討などが期待されています。

また、子育てについての悩みを持つ親も多くいるため、安心して子育てができるような環境づくりが求められています。

幼稚園施設一覧

(市立)

幼稚園名	建築年月	構造	面積 (m ²)	備考
伊東幼稚園	H6.11	鉄筋コンクリート3階地下1階	594	
湯川分園	H16.1	木造平屋建	421	
竹の台幼稚園	H8.2	鉄筋コンクリート3階地下1階	477	
新井分園	S51.1	鉄筋コンクリート2階	615	休園中
鎌田幼稚園	H15.2	木造平屋建	480	
川奈幼稚園	H4.3	木造平屋建	368	
宇佐美幼稚園	H4.3	木造平屋建	557	
宮川分園	S50.3	鉄筋コンクリート2階	780	
八幡野幼稚園	S49.3	鉄骨平屋建	508	
富戸幼稚園	S45.3	鉄骨平屋建	455	
池幼稚園	H1.12	木造平屋建	343	
南幼稚園	S56.3	鉄筋コンクリート2階	616	
富士見分園	S50.1	鉄筋コンクリート2階	756	
吉田幼稚園	S63.3、H17.1	木造平屋建	376	
荻幼稚園	S50.3、H9.11	鉄筋コンクリート2階(一部鉄骨)	709	

(私立)

幼稚園名	建築年月	構造	面積 (m ²)	備考
野間自由幼稚園	H14.12	鉄筋コンクリート平屋建	1,095	
伊東聖母幼稚園	S51.9	鉄筋コンクリート2階	600	

2. 施策の基本的な方向性

(1) 生きる力の基礎を培う教育

幼児は遊びを通して、好奇心を育み、知識や技術を身につけるとともに、社会性や道徳性の芽生えなど生涯にわたる人間形成の基礎を培い、生きる力の基礎を育みます。

よりよい幼児教育を進めるため、教職員の資質の向上に努めるとともに、3歳児保育の充実、預かり保育の検討など多様なニーズへの対応と教育環境の整備を図ります。また、施設の適正配置や有効利用を図るとともに、私立幼稚園への支援を行っていきます。

(2) 地域や家庭との連携

地域の自然、人材、行事などを活用し、特色ある幼稚園づくりを進めます。

また、子育て支援や家庭教育の重要性についても理解を深める機会をつくります。

3. 施策の体系と主要施策

1 生きる力の基礎を培う教育

- ・体験活動の推進
- ・教職員の資質の向上
- ・3歳児保育の充実
- ・預かり保育の検討
- ・教育環境・施設の整備
- ・私立幼稚園への支援

2 地域や家庭との連携

- ・地域の素材の活用
 - ・相談体制の充実
-

第3項 義務教育の充実

1. 現況と課題

近年、少子化や核家族化、遊びの変化などにより、好ましい人間関係の確立ができず、不登校児童・生徒が増加する傾向も見られます。また、社会の国際化・情報化などに対応できる人材の育成が求められており、基礎・基本の充実に図るとともに自ら学び、自ら課題を解決する力を育む必要があります。

また、児童・生徒の体力低下が見られるなか、体力向上に向けての指導の充実が必要となっています。

調べ学習や問題解決型の学習を支える様々な情報を得るための環境整備が必要となっています。

また、確かな学力と豊かな心の育成が叫ばれているなか、教職員の資質の向上が求められており、指導主事による指導や個人研修、校内研修の一層の充実が必要です。

2. 施策の基本的な方向性

(1) 「確かな学力」と「豊かな心」の育成

魅力ある授業づくりを推進し、基礎基本の確実な定着を図るとともに、自ら考え自ら学ぶ児童・生徒の育成に努めます。また、その教育環境づくりに努めます。

道徳教育の充実に図るとともに、食育、環境教育、福祉教育、ボランティア活動など、特色ある学校づくりを推進し、思いやりやいたわりの心を持つ児童・生徒を育成します。

* A L T の配置や諸外国の情報に触れる機会をつくるなど、国際理解教育を推進します。

いじめ・問題行動・不登校・虐待に対しては、早期発見に努め、適応指導教室や教育相談室、県東部児童相談所など他機関との連携を密にし、問題解消を図ります。また、多人数学級や運営の難しい学級などへの支援の充実に図ります。

児童・生徒の健康づくりや、体力向上に向けての指導の充実に努めます。

軽度発達障害の子どもはもとより一人ひとりの子どもが安心して学校生活を送れるよう、特別支援教育の充実に努めます。

* A L T
外国語指導助手
(Assistant Language Teacher)

第1節 学校教育の充実

(2) 学校施設及び教育環境の整備

パソコン・インターネットを使った情報教育の充実及び図書室の充実・学校司書の配置に努めます。また、適正な通学区域の確保に努めます。

学校施設の再点検などにより、学校施設の整備を進めるとともに学校の安全確保を図ります。また、社会全体の公共財産として学校施設の一層の有効利用に努めます。

中学校給食については、完全給食の実施に努めていきます。

(3) 教職員の資質の向上

県・市教育委員会指導主事や市教科指導員の学校訪問を計画的に進め、また、自主研修、グループ研修、異業種体験などにより、教職員の資質の向上に努めます。

3. 施策の体系と主要施策

1 「確かな学力」と「豊かな心」の育成

- ・魅力ある授業の推進
- ・図書室の充実等による調べ学習の推進
- ・道徳教育の充実
- ・環境教育、福祉教育、ボランティア活動の推進
- ・国際理解教育の推進
- ・教育相談室・適応指導教室の充実
- ・健康・体力向上に関する指導の充実
- ・学級支援の充実
- ・特別支援教育の充実

2 学校施設及び教育環境の整備

- ・パソコン・インターネットを使った情報教育の充実
- ・図書室の充実・学校司書の配置
- ・適正な通学区域の確保
- ・学校施設の整備
- ・児童・生徒の安全確保の推進
- ・学校施設の有効利用
- ・学校給食の充実

3 教職員の資質の向上

- ・研究奨励制度の活用
 - ・指導主事等の学校訪問
-

第4項 高等教育の充実

1. 現況と課題

本市には、大学、専門学校などの教育機関がないことから、進学する場合には、経済的にも大きな負担となります。

このため、大学、高校などへの進学にあたり、経済的負担の軽減を図るための支援が必要となります。

大学などの誘致は、少子化による学生の確保、土地取得や施設建設、高額な運営費などの多くの課題がありますが、進学機会の拡大や地域振興策として、検討する必要があります。

伊東市内3高校卒業生の進路状況

(単位：人)

卒業年度	進学者(A)			専修・ 各種 (B)	就職・ その他 (C)	卒業者 総数 (D)	進学率(%)	
	大学	短大	計				A/D	A+B/D
平成12年度	170	53	223	97	163	483	46.2	66.3
平成13年度	178	52	230	136	181	547	42.0	66.9
平成14年度	155	54	209	144	152	505	41.4	69.9
平成15年度	153	39	192	149	142	483	39.8	70.6
平成16年度	177	28	205	118	135	458	44.8	70.5

資料：学校基本調査

2. 施策の基本的な方向性

(1) 高等教育の支援

就学援助のための育英奨学金制度の充実に努めます。

(2) 専門的教育機関の誘致の調査、研究

進学機会の拡大や地域振興策として、市の各分野の施策を推進する上で必要となる専門的技能を有する人材の育成策として、専門的な教育を提供できる大学、専門学校などの誘致の可能性について調査・検討していきます。

3. 施策の体系と主要施策

1 高等教育の支援

- ・育英奨学制度の充実

2 専門的教育機関の誘致の調査、研究

- ・専門的教育機関の誘致の調査、研究

第1項 社会教育環境の充実

1. 現況と課題

少子高齢化、情報化、国際化など、急激なライフスタイルの変化にともない、市民は、より高度で多様な生涯学習の機会を求めており、それに対応した環境の整備が必要となっています。

人と人が学びあい、ふれあう生涯学習を推進するために、ボランティアの育成・活用も必要です。

社会の急激な変化は青少年を取り巻く環境を大きく変化させ、本来手本となるべき大人のモラルの低下は、青少年に悪影響を与えています。

特に、少年非行は低年齢化、凶暴化など深刻な状況となっているため、次代を担う青少年を、地域が、地域の子どもとして育てていく必要があります。

生涯学習施設一覧

名 称	開設年月日	敷地面積 (m^2)	建物面積 (m^2)	施設内容
生涯学習センター 中央会館	S 55.10. 1	2,123	1,520	鉄筋4階建 第1・2会議室、第1・2和室 第1・2研修室、視聴覚室 美術工芸室
生涯学習センター ひぐらし会館	H 6.12. 1	463	1,787	鉄筋3階建 第1・2会議室、ホール・楽屋 トレーニング室、和室 幼稚園遊戯室
生涯学習センター 池会館	H 6. 8. 2	2,676	1,102	鉄筋3階建 大会議室、小会議室、和室 ホール、図書コーナー 健康コーナー、調理室
生涯学習センター 赤沢会館	H10. 7. 1	561	703	鉄筋3階建 大会議室、和室、調理室 図書コーナー、健康コーナー
生涯学習センター 荻会館	H13.12. 1	1,283	1,286	鉄筋3階建 大会議室、児童室兼会議室 図書コーナー、和室、調理室 トレーニング室

2. 施策の基本的な方向性

(1) 社会教育の充実

市民の要望に応じた学習の機会を提供するため、指導者リストの整備拡充とともに、生涯学習情報の収集・提供に努め、各種講座や教室の充実を図ります。

インターネットの活用などにより学習情報のネットワーク化を進め、学習の場の整備に努めていきます。

さらに、生涯学習ボランティアの育成・活用を推進します。

(2) 青少年教育の充実

地域の子どもの関わりを深め、次代を担う青少年の自立意識や社会性を育成していきます。

このため、体験学習の機会の拡大や野外活動施設の整備を進め、既存施設の利用について働きかけるとともに、青少年にとっての良好な社会環境づくりを進め、青少年問題協議会や青少年育成市民会議を中心に関係機関・団体との連携を図り、青少年の健全育成に努めます。

3. 施策の体系と主要施策

1 社会教育の充実

- ・生涯学習情報の収集・提供の充実
- ・市民の要望に応じた学習の場の提供
- ・学習の場の整備
- ・ボランティアの育成、活用の推進

2 青少年教育の充実

- ・青少年の健全育成
- ・野外活動施設等の整備

第2項 家庭教育の支援

1. 現況と課題

少子化や核家族化などから親の育児に対する経験や知識が不足し、「わが子を育てる」自信を持ってない親が増えています。

子どもの人間形成に及ぼす親の影響力を訴え、わが子を育て上げる自覚を促すため、家庭の教育力の充実が必要です。

地方の都市化が進み、社会環境の変化や価値観の多様化により、家庭と地域との関わりが薄れてきているため、地域の教育力も喚起するなか、それぞれの役割を認識し、コミュニケーションを密にできる環境づくりが必要です。

2. 施策の基本的な方向性

(1) 家庭の教育力の支援

親の「わが子を育てる」責任意識の醸成を図り、人として生きていくための家庭におけるしつけや思いやる心を育てるための教育として、地域や学校と連携し、家庭教育学級や三歳児のおやぎょう教室など、親を対象とした講座や相談体制の充実に努めていきます。

(2) 子育て環境の整備・充実

子育てのための様々な活動を地域ぐるみで支援する土壌づくりに努め、情報提供などの広報活動を推進していきます。

3. 施策の体系と主要施策

1 家庭の教育力の充実

- ・親の子育て意識の醸成
- ・親子教育の充実

2 子育て環境の整備・充実

- ・子育てを支援できる地域づくり
- ・子育てに関する情報の提供

第3項 市民スポーツ活動の支援

1. 現況と課題

現在、子どもは自然環境での体験活動などの外遊びが減少し、体力低下の傾向も見られます。一方、大人は余暇時間の増加や健康志向の高まりに伴い、スポーツ活動の需要が増大しています。

*総合型地域スポーツクラブ
地域住民が主体的に運営するスポーツクラブで、複数の種目が用意されており、地域のだれもが年齢、関心、技術、技能レベルなどに応じて参加できるもの。

このため、市民が気軽にスポーツを楽しむことのできる環境づくりや新たな施設整備が求められています。

現在、学校の部活動やスポーツ少年団が青少年スポーツ活動の中心となっていますが、今後は、「伊東市健康保養地づくり事業計画」の推進や、地域を核とした「*総合型地域スポーツクラブ」の育成を目指していく必要があります。

社会体育施設一覧

施設名	設置年月日	施設の概要
市民体育センター	S54. 2. 18	・体育室（バレーボール3コート） ・卓球室（2台） ・トレーニング室
市民運動場	S45. 11. 30	・野球場2面、サッカー1面（夜間照明施設）
かどの球場	H 7. 4. 8	・全面人工芝野球場（夜間照明施設） ・ソフトボール、サッカー等利用可能
大原武道場	H 8. 11. 1	・第1道場（畳敷き） ・第2道場（板張り） ・トレーニング室 ・ミーティングルーム
青少年キャンプ場	S57. 7. 25	・四阿2棟、水洗トイレ、調理台、野外炉
小室山公園総合グラウンド	S44. 10. 9	・野球場2面、サッカー1面（天然芝張り）
小室山公園テニスコート	S44. 10. 9	・オムニコート7面 ・ハードコート11面
海浜プール	S42. 7. 1	・25m プール、幼児用プール

: 観光施設

2. 施策の基本的な方向性

(1) 体育施設の整備・充実

市民のスポーツ振興が図られるよう、体育施設の充実や適正な維持管理に努めていきます。

このため、総合体育館、サッカー場、陸上競技場の建設に向け、調査、研究を進めていきます。

また、学校体育施設の一般開放事業を進めるとともに、定期的な点検、計画的な修理により、効率的な施設管理を進めていきます。

第2節 社会教育の充実

(2) スポーツの振興

「市民一人一スポーツ」をめざし、市民だれもが健康的にスポーツを楽しむことができるよう、生涯スポーツ活動推進のための環境整備に努め、青少年のスポーツ活動を促進していきます。

このため、体育協会や学校、各種団体などと連携を図り、スポーツイベントの開催、情報の提供、指導者の育成を進めます。

また、各地域において、体育振興会の組織の確立を図るとともに、「しずおか型地域スポーツクラブ」を創設し、地域スポーツの振興を図ります。

さらに、各種スポーツの普及を図るため、講習会の開催を通して、指導者の育成や確保に努めます。

3. 施策の体系と主要施策

1 体育施設の整備・充実

- ・既存施設の適正な維持管理
- ・社会体育施設の整備充実
- ・学校体育施設開放の促進

2 スポーツの振興

- ・「市民一人一スポーツ」の推進
- ・青少年スポーツ活動の促進
- ・地域スポーツクラブの育成



第4項 コミュニティ活動の支援

1. 現況と課題

少子高齢化、核家族化、都市化などの影響により、地域住民の連帯が薄れていく中で、コミュニティ活動の一層の充実が求められています。

コミュニティセンターや生涯学習センターなどを交流拠点として、伝統ある地域文化など地域に根ざした学習活動の活性化を図り、地域力を活用した特色ある地域づくりを進める必要があります。

コミュニティセンター施設一覧

名 称	開設年月日	敷地面積 (㎡)	建物面積 (㎡)	施設内容
宇佐美 コミュニティセンター	S 63.12.12	1,644	1,433	鉄筋3階建 大会議室、児童室、図書室 ほか
小室 コミュニティセンター	H 3. 4.17	1,388	1,232	鉄筋3階建 体育室、児童室、図書室 ほか
八幡野 コミュニティセンター	H 5. 1.22	1,795	1,383	鉄筋3階建 大会議室、児童室、図書室 ほか
富戸 コミュニティセンター	H 7. 7. 3	2,010	1,545	鉄筋3階建 大会議室、児童室、図書室 地震観測データ室ほか

2. 施策の基本的な方向性

(1) コミュニティ活動の充実

コミュニティリーダーの発掘、育成、活用を推進し、指導者の交流・組織化を積極的に促進します。

このために、コミュニティセンター、地域の集会所などの公共施設を有効に活用し、コミュニティ活動の活性化を支援します。

(2) コミュニティ活動の推進

地域住民の自主的な活動を支援し、特色ある地域づくりを進めていきます。

3. 施策の体系と主要施策

1 コミュニティ活動の充実

- ・コミュニティリーダーの育成・活用
- ・コミュニティ活動の推進と充実
- ・公共施設の有効利用

2 コミュニティ活動の推進

- ・特色ある地域づくり

第1項 芸術・文化の振興

1. 現況と課題

心の癒しや安らぎがより一層強く求められているなかで、市民が芸術や文化に触れる機会の拡大を図る必要があります。

また、伊東ゆかりの芸術・文化の事績を生かすとともに、既存の文化施設との連携を図る必要があります。

さらに、市民一人ひとりが、郷土に根ざした文化的な生活を営めるよう、文化協会をはじめとする関係団体及び関係者の協力を得て、市民総ぐるみの文化振興を進めるとともに、指導者の育成と活動の支援が必要です。

国際化の進展により、グローバルな視野に立った活動が求められており、国際感覚を醸成するため、文化交流においても、活動の場を国内のみならず国外にまで広げる必要があります。

伊東市文化協会加盟団体数（平成16年度）

部 門	加 盟 団 体	団体数
文学部門	俳句連盟	29
	短歌連盟	10
	川柳連盟	2
展示部門	華道連盟	12
	茶道連盟	7
	書道連盟	6
上演部門	音楽連盟	8
	邦楽・邦舞連盟	8
	民謡連盟	7
	民舞連盟	8
	三曲連盟	5
	吟剣詩舞道連盟	5
	洋舞連盟	6
	大正琴連盟	3
	ハワイアンフラ連盟	7
	諸団体	9
計	132団体 15連盟	約2,400人

2. 施策の基本的な方向性

(1) 芸術・文化にふれることのできる環境づくり

地域の香り高い文化を創造するため、「市民一人一文化」を掲げ、芸術祭などを通して、芸術・文化の向上、振興を図ります。

市民に優れた芸術・文化にふれる機会を提供するため、催し物の開催誘致を進めるとともに、文化協会加盟団体や指導者の育成を図ります。

文化・芸術活動の場として、観光会館をはじめ、既存施設の整備や活用を進めることで文化事業の充実に努めます。

(2) 教育・文化交流の活性化

姉妹都市や国外の友好都市などとの交流をさらに推進するとともに、民間レベルでの交流を支援し、教育・文化の交流を発展させます。

そのため、交換留学事業や児童の絵画展などを充実し、より幅広い国際感覚を養います。また、青年海外派遣事業を推進します。

3. 施策の体系と主要施策

1 芸術・文化にふれることのできる環境づくり

- ・ 芸術・文化にふれることのできる機会の提供
- ・ 指導者の養成と文化活動の推進
- ・ 観光会館文化事業の推進

2 教育・文化交流の活性化

- ・ 姉妹都市・友好都市との教育・文化交流の推進
- ・ 青年海外派遣事業の推進

第2項 文化的な環境づくり

1. 現況と課題

(1) 歴史・文化の継承の現況と課題

文化財は先人から受け継がれた市民の共有財産ですが、時の経過により失われるものも多いため、文化財愛護の精神を普及し、これを保護し保存する必要があります。

『伊東市史』は前回の刊行から40年以上を経過しており、その間の新たな歴史資料の発見や歴史学研究の進歩などにより、全面的に見直す必要があります。

(2) 図書館活動の推進の現況と課題

図書館は、多様化するニーズに応えるため、図書資料の充実を図るとともに、だれもが自分の好きな時間に自分の求める情報と接することができるようにしていく必要があります。そのためには、開館日数の増加、駐車スペースの拡大、インターネット環境の整備などの改善を図る必要があります。

また、高齢者、児童、郊外の居住者などの利便性を向上していく必要があります。

子どもに限らず一般的に活字離れが進む傾向があることから、幼児期から本に親しむ機会や、本の持つ意義を理解する機会をつくる必要があります。

蔵書及び貸し出し冊数（平成16年度）

分類	蔵書冊数(冊)	構成比(%)	貸出冊数(冊)	構成比(%)
総記	5,605	3.5	886	0.6
哲学	4,147	2.6	1,883	1.3
歴史	10,601	6.6	4,583	3.1
社会科学	14,582	9.1	5,117	3.4
自然科学	6,167	3.8	3,370	2.2
技術・工学	5,032	3.1	7,092	4.7
産業	2,696	1.7	2,199	1.5
芸術	7,030	4.4	3,570	2.4
言語	1,568	1.0	792	0.5
文学	47,679	29.7	54,462	36.5
郷土資料	7,296	4.5	898	0.6
児童書	36,850	23.0	46,801	31.3
視聴覚資料(CD VTR)	2,300	1.4	7,092	4.7
洋書	600	0.4	443	0.3
点字本	95	0.1	1	0.0
大活字本	142	0.1	505	0.3
雑誌	7,962	5.0	9,860	6.6
合計	160,352	100.0	149,554	100.0

貸出冊数には移動図書館「ともだち号」の貸出冊数(19,723冊)は含まない。

第3節 芸術・文化の振興

移動図書館（ともだち号）貸出冊数（平成16年度）

巡回ステーション名	年間 巡回数	貸出冊数					計	一日当
		一般書	児童書	雑誌	ビデオ			
ワンダー宇佐美店	21	635	649	111	85	1,480	70	
鎌田公園	21	39	292	42	13	386	18	
大池小学校	5	135	1,200	0	32	1,367	273	
元ナガヤ川奈駐車場	21	537	26	96	4	663	32	
宇佐美小学校	21	400	659	76	70	1,205	57	
あいら伊豆農協川奈支店	21	94	206	37	13	350	17	
伊豆急伊豆高原管理事務所	23	604	23	166	11	804	35	
富戸払地区	23	321	17	46	5	389	17	
富戸小学校	23	224	392	92	37	745	32	
生涯学習センター萩会館	23	772	327	172	11	1,282	56	
イトピア管理事務所	21	520	31	102	0	653	31	
ゆうゆうの里	21	502	5	21	0	528	25	
伊東市漁協新井魚市場	24	63	170	0	7	240	10	
南小学校	24	481	3,158	34	180	3,853	160	
吉田公園	24	447	1,648	118	167	2,380	99	
伊東市漁協赤沢支所	23	96	2	13	0	111	5	
八幡野小学校	23	714	1,315	178	136	2,343	102	
生涯学習センター池会館	23	135	81	6	3	225	10	
角折住宅	23	184	223	21	17	445	19	
城平住宅	23	236	33	5	0	274	12	
計	431	7,139	10,457	1,336	791	19,723	46	

2. 施策の基本的な方向性

(1) 歴史・文化の継承

市民が文化財に親しむ機会の充実を図り、文化財愛護の精神を普及し、郷土を愛する心を育みます。

このため、市民の協力や関係機関との連携により、文化財の保護・保存を推進するとともに、各種の出版物やインターネット等を利用した調査結果の公開に努めます。

郷土資料館の建設については、研究協議を継続していきます。

また、『伊東市史』は、市制施行60周年記念事業として、これまでに発見された新たな歴史資料や歴史学研究などの成果を取り入れて、新たに刊行し、市民の郷土に対する理解を深め、次の世代に歴史・文化を継承していきます。

木下空太郎記念館の整備や関係資料の収集、充実を図るとともに、伊東市文化財管理センターを中核とした、埋蔵文化財の調査・研究・普及活動を行います。

(2) 図書館活動の推進

情報拠点としての図書館機能を十分発揮するため、利用者のニーズに応じた利用しやすい開かれた図書館をめざしていきます。

このため、利用者の多様化したニーズに応じた図書資料、情報資料を充実し、郊外に居住する住民の利便を図るため、移動図書館車の運行に努めます。

また、図書館ホームページの開設を図り、多くの市民がいつでも図書資料を検索・予約できる環境を整えます。

幼児期から図書館に親しむためのおはなし会などの図書館行事を、生涯学習の一助となるよう実施していきます。

利用者の利便を図るため、施設の整備や開館日数の拡大などに努めます。

3. 施策の体系と主要施策

1 歴史・文化の継承

- ・文化財の保護・保存
- ・『伊東市史』の刊行
- ・「市史だより」の発行
- ・市史講演会の開催
- ・市史講座の開催

2 図書館活動の推進

- ・蔵書の充実
 - ・情報化に対応した施設整備
 - ・学習機会の提供
-